

【1】-A (10点満点)

【例1】

脳が大きいと知能が高いという考えは事実に合わず、知力は脳のプログラムで決まる。人間の脳が大きく進化したのは、一部が損傷しても補える予備の認識能力を持つためだ。(79字)

【例2】

脳の大きさと知能レベルは比例しておらず、認知能力に重要なのは脳のソフトウェアだ。人間の脳が大きいのは、損傷を受けても認知機能を保持する蓄えの能力を持つためだ。(79字)

必須項目 (10点)	<p>①「動物の脳は大きければ大きいほど知能が高くなると考えられてきた」(4点)  <b>The bigger an animal's brain, the greater its intelligence.</b></p> <p>▶「脳が大きい」(The bigger ... brain)に相当するものがないものは<b>2点減点</b>。                  ×「脳」だけでは「脳が大きい」と認めない。</p> <p>▶「知能/知性」(intelligence)に相当するものがないものは<b>2点減点</b>。                  ○「頭が良い」は「知能」と認める。</p> <p>②「しかし認識機能にとって重要なのは脳のハードウェアよりもソフトウェアであり、ソフトウェアが優れていれば大きなハードウェアは必要ない」(4点)  <b>What really matters to cognitive performance isn't so much the brain's hardware as its on-board software. And smarter software doesn't need a bigger hardware base.</b></p> <p>▶「認識/認知(の)」(cognitive)に相当するものがないものは<b>2点減点</b>。                  ×「知能/知性/精神」は「認識」と認めない。</p> <p>▶「ソフトウェア/プログラム」(software)に相当するものがないものは<b>2点減点</b>。                  ○「プログラム/ソフト」は「ソフトウェア」と認める。                  ×software (英語のまま)は「ソフトウェア」と認めない。</p> <p>③「人間の脳が2倍の大きさに進化したのは、脳が損傷したり消耗したりすると呼び出せる認知能力の予備を大量に持つからだ。人間はこの予備能力を利用して知力を保持できる」(2点)  <b>The answer can lie in the advantage of having a large amount of cognitive reserve. But because humans can draw on this reserve, they can retain their mental powers into relative old age.</b></p> <p>▶「予備/蓄え」(reserve)に相当するものがないものは<b>2点減点</b>。                  ○「余裕/余力」は「予備」と認める。                  ×「保存/リザーブ」は「予備」と認めない。</p>
---------------	---

- ① 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
- ② その他、誤訳、不適切な表現は程度に応じて1～2点減点。
- ③ 字数制限を満たさないものは0点。

【2】－A (12点満点)

【例1】

Japanese food culture is truly unique in the world. Japan has excellent traditional cuisine called washoku which has been registered as a World Intangible Cultural Heritage. In addition, Japanese people enjoy cuisines from all over the world, including Chinese, French, and Italian food. It is very Japanese to be open to a wide range of other food cultures while also cherishing Japan's own traditional food culture. (66 語)

(日本の食文化は世界において本当に独特だ。日本には「和食」と呼ばれる素晴らしい伝統料理があり、世界無形文化遺産に登録されている。加えて、日本の人々は中国料理、フランス料理、イタリア料理など、世界各国の料理も楽しんでいる。日本独自の伝統的な食文化を大切にしながら、他の食文化も幅広く受け入れているのは、とても日本的である)

【例2】

Modesty and politeness are Japanese traits, for better or worse. After the Great East Japan Earthquake, the world was impressed to see how Japanese people acted according to the rules. However, modesty and politeness are also signs of the strong peer pressure in Japanese society. Some people are so afraid of acting differently from others that they hesitate to go home after their work is done if others around them are working late. (73 語)

(謙虚さと礼儀正しさは、良くも悪くも、日本人の特性だ。東日本大震災の後には、日本の人々がいかにルールにのっとって行動するのかを見て世界が感心した。しかし、その謙虚さや礼儀正しさは、日本社会における強い同調圧力の表れでもある。他人と違った行動をするのを恐れるあまり、自分の仕事が終わっても周りの人が残業していると、帰宅するのをためらう人もいる)

【例3】

The punctuality of railway trains is unique to Japan. A few years ago, when I traveled in some European countries with my family, we were often troubled by railway disorder. I had thought it was normal for trains to run on time, but I learned that in many countries around the world, trains do not always keep their schedule. There is probably no country where trains run more punctually than in Japan. (72 語)

(鉄道列車が定刻に走るのは日本独特だ。数年前、家族でヨーロッパを旅行したとき、私たちは鉄道の乱れで何度も苦労した。電車は時間通りに走るのが当たり前だと思っていたが、世界の多くの国では、電車は必ずしも運行時間を守らないということを知った。日本ほど電車が定刻通りに走る国はおそらくないだろう)

【例4】

In Japan, the old and the modern exist simultaneously without conflict. In Tokyo, you can clearly see the contemporary structure of the Tokyo Skytree from the old shopping town Asakusa. You can travel from Tokyo to Kyoto, the ancient capital, on a new bullet train, and as soon as you arrive, you can go sightseeing around the ancient city. This fusion of old things and modern things is one of the unique aspects of Japan. (75 語)

(日本では、古いものと現代的なものが相争うことなく同時に存在している。東京では、古い商店街である浅草から現代的な構造物の東京スカイツリーがよく見える。東京から古都・京都までは新しい新幹線で移動でき、到着するとすぐに古都の観光ができる。このような古いものと現代的なものの融合は日本の独特な側面の1つだ)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限(60~80語)を満たさないものは**0点**。
3. 内容面で下記に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

【問題】

あなたが思う「日本らしさ」を1つ取り上げ、それについてのあなたの考えを60~80語の英語で述べよ。

ポイント1 「日本らしさ」(1つ)

- \* 「日本らしさ」に無関係なものは**6点減点**。
- \* 「日本らしさ」(日本特有)として明らかに違和感があるものは**3点減点**。

ポイント2 「日本らしさ」として取り上げたものについての考え

- \* 「『日本らしさ』として取り上げたものについての考え」がないものは**6点減点**。
- \* 論旨が一貫していないと採点者が判断できるものは**3点減点**。

【2】－B（12点満点）

（問題）

私は自分の学問に対してあまり苦勞したことはなかった。今日まで何十年にわたる長い年月の間実に愉快地学問を続けてきて、ついに今日に及んだのであるが、平素その学問を特に勉強したようにも感じていないのは不思議である。

これは結局生まれつき植物が好きであったため、その学問があえて私に苦痛を与えなかったのであろう。

（牧野富太郎『若き日の思い出』）

【例1】 I have been studying with a lot of joy for a long time of several decades, and that is still the same today. Curiously enough, I don't ever feel like I had a hard time in the course of my learning.

（私は数十年の長い間、多くの喜びを持って勉強してきたが、それは今でも変わらない。不思議なことだが、学ぶ過程で苦勞があったと感じることはまったくないのだ）

【例2】 I have really been enjoying my studies for as long as several decades, which has eventually continued up until today. I wonder why I have never felt any difficulty at all in doing my studies.

（私は数十年もの長い間、本当に勉強を楽しんできて、それは結局、今日まで続いている。勉強をするのに何の苦勞もまったく感じなかったのはなぜだろうと不思議に思う）

【例3】 I have continued my studies over many long decades with great pleasure, and this has never changed all the way through to this day. However, it is strange that now I don't feel I have studied my field that much.

（私はこの何十年もの長きにわたり、大いに楽しみながら勉強を続けてきたが、それは今日までずっと変わらなかった。しかし、自分の分野をそれほどたくさん勉強したと、今感じていないのは不思議である）

【例4】 My decades-long journey of learning has given me great pleasure and has brought me to where I am today. What I find strange is that I have never felt as though I was actually studying.

（自分の何十年という長さの学びの旅は、大きな喜びを与えてくれ、そして今日の私をもたらしてくれた。不思議だと思うのは、自分が実際に勉強しているように一度も感じてこなかったことだ）

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。

2. 以下の①～⑥の区分に指定の得点を配分。

【区分】

- |  |
|--|
| ①（2点） 今日まで何十年にわたる長い年月の間                  |
| ②（2点） 実に愉快地学問を続けてきて、                     |
| ③（2点） ついに今日に及んだのである                      |
| ④（2点） が、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・のは不思議である。  |
| ⑤（2点） 平素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ようにも感じていない |
| ⑥（2点） その学問を特に勉強した                        |

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題部分>(ア)は them の内容を明らかにすること。

Mysteriously, given the distances that separate them, all these cave walls are covered with similar decorations

<例 1>

この装飾洞窟が互いに距離的に隔たっていることを考えると、不思議なのは、こうした洞窟の壁を覆っているのが、みな似たような壁画であることだ。

<例 2>

不思議なことに、装飾洞窟は互いに離れているにもかかわらず、これらすべての洞窟の壁は似通った装飾で覆われている。

区分	配点	具体事例
Mysteriously, 不思議なことに,	1点	×文修飾の副詞だとわかっていないものは不可。 ×「ミステリーだが／ミステリアスに」は不可。
given the distances that separate them それらの装飾洞窟を隔てる [分ける] 距離 [それらの装飾洞窟の隔たり] (の遠さ) を考慮すると	1点	×them (=decorated caves) を具体化して訳出していないものは不可。〔設問指示〕 ○given ～ に「～にもかかわらず」は認める。 ×given the distances に「距離を仮定すると」など意味をなさないものは不可。 ×that が主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。
all these cave walls すべてのこれらの洞窟の壁	1点	×all の訳抜けは不可。 ×these の訳抜けは不可。「この、これらの、その、それらの」など可。 ×cave の訳抜けは不可。
are covered with similar decorations ～はよく似た装飾で覆われている	1点	○decoration に「壁画／絵」は認める。

- ① 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（イ）（4点満点）

<問題部分>

The nonhuman animals are painted with almost supernatural attention to facial and muscular detail

<例 1>

人間以外の動物は、顔や筋肉を、超自然的とも言えるほどの細密さで描いてある

<例 2>

人間でない動物は、顔や筋肉の細部に至るまで、驚異的とも言えるような注意を払って描かれている

次の区分に分けて配点する。（加点法ではなく**減点法**で採点してください）

区分	配点	具体事例
The nonhuman animals are painted 人間でない動物は描かれている	1点	×nonhuman に「非人間的な」は不可。
with almost supernatural attention to ～ ～に対するほとんど超自然的な注意を払って [伴って]	2点	×almost の訳抜けは不可。
facial and muscular detail 顔や筋肉の細部	1点	×facial に「表面の」は不可。 ×muscular に「男性の」は不可。 ×and が facial と muscular を結ぶ接続詞だとわかっていないものは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題>下線部(ウ)の内容を 40 字以内の日本語で説明せよ。

This is so striking to us because of (ウ)our own particular historical situation almost twenty thousand years after the creation of the cave art.

（このことに私たちが愕然とするのは、洞窟美術の誕生から 2 万年ほどたった(ウ)私たち自身の特殊な歴史的状況のせいである）

<例 1 >

歴史上まれなほど、みな自分が自身の容姿に強い関心を持ち、世に出そうとする時代。(39 字)

<例 2 >

誰もが自撮りの自分の肖像に執着し、世に広めようとする、かつてない状況。(36 字)

- ① 41 字以上は 0 点。
- ② 次の (1) ～ (4) が必須項目。

- (1) 「誰も [みな] が～な時代/状況」 (**the age ... everyone**) に相当するものがないものは **1 点減点**。  
○ 「時代」の代わりに「(歴史的) 状況」 (**(historical) situation**) も認める。
- (2) 「自画像」 (**self-portraits**) に相当するものがないものは **1 点減点**。  
○ 「自撮り/自分のイメージ/自分の容姿/自分の肖像」などは「自画像」と認める。  
○ 「電子的な」 (**electronic**) はなくてもよい。
- (3) 「(自画像に) 魅了される/執着する」 (**fascinated / obsessed**) に相当するものがないものは **1 点減点**。  
○ 「強い関心を持つ」などは「魅了される」と認める。
- (4) 「(自画像を) 広める [拡散させる]」 (**spread**) に相当するもの (これがないものは **1 点減点**)  
○ 「世に出す」などは「広める」と認める。

【5】－(A) (4点満点)

<問題>

下線部 (A) の内容を具体的に説明せよ。

my own question

<例1>

国際郵便の収益は国同士でどのように分配されているのか。

<例2>

アイルランドからアメリカへの郵便で、利益はどう分配されるのか。

- ① 字数制限なし。
- ② 次の (1) (2) が必須項目。

※全体としての趣旨そのものがまったく違うものは**－4点(0点)**

※概ね趣旨が正しいものについて、次の (1), (2) の要素の不備は配分の点数を減点。

(1) 「国際郵便の収益 [利益]」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

- × 「郵便」だけでは「国際郵便」と認めない。
- 「国際郵便の料金/国際郵便の費用」は「国際郵便の収益」と認める。
- 「アイルランドーアメリカ間の郵便」は「国際郵便」と認める。

(2) 「どのように分配されているのか」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)

- × 「(収益を) 分配する」に相当するものがないものは不可。
- 「分配の仕方」は「どのように分配されているのか」と認める。
- 「配分/分ける」は「分配する」と認める。
- 「料金を決める」は「(収益を) 分配する」と認める。
- 疑問形でなくてもよい。

【5】－(B) (3点満点)

<問題>

下線部 (B) を文脈に即してわかりやすい日本語に訳せ。

You've got to *be* somewhere.

<例 1>

住所がないというのはおかしいでしょう。

<例 2>

人はどこかにいなければいけないわけでしょう。

区分	配点	具体事例
You've got to ~ あなたは～はずだ	2点	○You've got to ~ は「～はずだ／～なければならない」など可。 ×You've got to ~ に「～になっている」「～に達している」などは不可 (－2点)。 ○You を一般的な人ととっているものも可。 ○You の訳はなくてもよい。 ×「あなたはどこかにいなければならない」など、極端な直訳で、適切に意味が伝わらないと判断できるものは不可 (－2点)。
<i>be</i> somewhere どこかに住んでいる	1点	○be の訳は「住んでいる／住所がある」など広く認める。 ×「どこか他のところに」は不可。 ×「あなたはここに住んでいないのですね」「ここはあなたの住所ではないのですね」は上の区分も含めて <b>3点減点</b> 。

- ① 上記の区分に分けて配点。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。